

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
相羽 洋子			
木2、木3			
添付ファイル			

科目の概要	公衆衛生学とは、地域社会の組織的な努力によって疾病を予防し、寿命を延長し、身体的ならびに精神的能力を増進するための技術と科学であり、人、地域社会および国民全体の「健康」を最終目標とする学問である。この授業では、公衆衛生の概念とその重要性に関する知識を得ることを目標にし、健康に関する諸問題を理解し健康の保持・増進を実践できるよう講義する。
授業の内容	<p>第1回 生活習慣の現状と対策 教科書73-99頁を読み、身体活動、喫煙、飲酒の現状を理解すること。</p> <p>第2回 主要疾患の疫学と予防対策 教科書100-113頁を読み、主要疾患の発生要因と予防を理解すること。</p> <p>第3回 感染症 教科書113-123頁を読み、感染症の分類と予防を理解すること。</p> <p>第4回 精神疾患、その他の疾患、自殺・不慮の事故・虐待・暴力 教科書123-136頁を読み、精神疾患やその他の疾患の現状と保健対策、自殺・不慮の事故・虐待・暴力の現状や対策を理解すること。</p> <p>第5回 保健・医療・福祉のしくみ 教科書137-141頁を読み、社会保障の概念と行政のしくみを理解すること。</p> <p>第6回 医療制度 教科書141-146頁を読み、医療体制の現状と課題を理解すること。</p> <p>第7回 福祉制度 教科書147-154頁を読み、福祉制度の現状と関連法規を理解すること。</p> <p>第8回 まとめ、中間試験 第1回から第7回まで学習した内容を復習し、中間試験を行う。</p> <p>第9回 地域保健 教科書155-160頁を読み、地域保健活動の概要を理解すること。</p> <p>第10回 母子保健 教科書160-171頁を読み、母子保健事業を理解すること。</p> <p>第11回 成人保健 教科書171-175頁を読み、生活習慣病の現状と予防を理解すること。</p> <p>第12回 高齢者保健・介護 教科書176-187頁を読み、介護保険法と介護サービスを理解すること。</p> <p>第13回 産業保健 教科書187-197頁を読み、労働衛生の概要を理解すること。</p> <p>第14回 学校保健 教科書197-208頁を読み、学校保健の概要を理解すること。</p> <p>第15回 国際保健、まとめ 教科書208-216頁を読み、国際協力の概要を理解すること。 第9回から第15回まで学習した内容を復習する。</p>
学習到達目標	日本の主な疾患の現状について学び、疾患の発生と予防の観点を理解できるようになる。我々のライフステージにおける保健の現状と課題について知り、保健、医療、福祉、介護等の制度について説明できるようになることを目的とする。
授業の方法	講義形式
成績評価の方法	主として、中間試験（40％）と定期試験（50％）の合計を基準とするが、授業参加態度（10％）も考慮に入れて評価する。
教科書・テキスト	Nブックス 社会・環境と健康 四訂公衆衛生学 後藤政幸、中村信也編 建帛社
参考書	国民衛生の動向 2018-2019（（一財）厚生労働統計協会） 他は必要に応じてプリントを配布する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	新聞・ニュースなどを通じて、健康や公衆衛生に関する社会的な話題に関心をもつこと。
履修上の留意事項	居眠り、携帯電話・スマートフォンの操作、他の科目の勉強、等は厳禁とする。
オフィスアワー	木曜日 4時限、5時限

担当教員への連絡方法	学内メールアドレス (y-aiba@osaka-aoyama.ac.jp) を利用する。
その他	